

新興化学工業 株式会社

廃棄物から希少金属を生み出す

リサイクルのバイオニア

無公害化技術で環境も保護

海外発注可 納期相談 企画力自信有 オンリーワン技術 メイドインジャパン 試作可小ロット



ハイテク産業に不可欠な素材、バナジウム、セレン、インジウムを世界トップ級の技術で製造

原点はセレン回収、再利用 世界屈指の再資源化技術で レアメタル国産化に成功

近年、ハイテク産業に欠かせないレアメタル資源の獲得競争は激化している。新興化学工業は、輸入に頼るしかなかったバナジウムのリサイクルを日本で初めて工業化した企業だ。国内で回収した資源からレアメタル原料を精錬し、メタルや化合物を製造。原料から高品質精製まで一貫生産を担う再資源化システムを確立した。厳しい公害規制に対応して公害防止施設も拡充、環境保護にも貢献する。

昭和20年に硫酸工場で発生するセレン泥から高純度のセレンを製造したことが、同社が廃棄物をもとに有価物を生み出す原点となった。時代の推移に応じてリサイクル原料はコピー機のドラム生産工程で出てくるセレンスクラップへと変換。現在は、銅メーカーから発生する粗セレンを主原料とする。

同社のセレン純度は99.999%と、品質では世界でトップ5に入る。セレン化合物の日本トップメーカーとして、その技術



堺臨海工場ではバナジウム生産等を、尼崎工場ではセレン、インジウム等を生産する

は世界でも高く評価されている。セレンはガラス中で赤色等に発色、また不純物の色を吸収、透明にする性質からガラス産業界で需要があり、最近では必須元素として家畜飼料にも利用される等、多分野へ供給。さらなる用途拡大を模索中だ。

国内初バナジウムメーカー 貴重なインジウムも生産 テルル、ガリウムへ新展開

同社は重油火力発電所で発生するボイラースラッジを原料にしたバナジウムのリサイクルを化学用途に特化し事業化。現在では同社の主力事業となっている。バナジウムの8割は、高張力鋼に使用される。しかし同社では、エチレンプロピレンゴム等の重合触媒に使われるオキシ三酸化バナジウム、四酸化バナジウムなど厳しい品質が要求される高付加価値分野で世界一の製造量を誇り、約6割という圧倒的なシェアを占めている。

また、世界で年間800トン程しか採れないという貴重な金属インジウムも同社の主力製品のつだ。インジウムは酸化物（ITO）は透明性、導電性があり、液晶ディスプレイ等に多く利用される。同社は不純物の多いスクラップ原料をリサイクル、精製、電解によって高純度化し、透明電極材料メーカーに販売する。

今後はバナジウム、セレン、インジウムの一貫生産技術を活かし、粗セレンから精製できるテルル、太陽電池やLEDの原料となるガリウムの一貫生産を目標とする。希少金属のリサイクル原料がどこにあるのか、いかに必要な純度に高めるかという問題と向き合いながら、時代の産業を支える高品質レアメタル、化合物を供給していく。

Company Profile

新興化学工業株式会社

ISO 14001 関西22
ISO 9001

住 所 〒542-0081
大阪市中央区南船場2-7-26
TEL 06-6263-6465
FAX 06-6263-6464
設 立 昭和13年5月1日
資本金 1億円
従業員 69名
代表取締役社長 新居田 孝太郎

■主な事業内容

レアメタル・レアメタル化合物のリサイクル・製造 等

■主な取引先

化学品メーカー、電子材料・化学品・工業薬品開発・製造メーカー、電力会社、総合商社、レアメタル製造・販売メーカー 等

<http://www.shinko-chem.co.jp>

他社には負けない

当社のもづくり
セールスポイント生き残りをかけた再資源化技術と
中小企業特有の動きの良さで躍進

代表取締役社長 新居田 孝太郎 さん



創業時、弊社はアルミ製錬用のフッ化アルミを生産していましたが、敗戦により生産中止を余儀なくされ、苦肉の策としてセレンのリサイクルを始めました。苦勞したからこそその発想力、小回りがきくという中小企業ならではの長所を活かし、メタルだけでなくどんな化合物でも挑戦します。